

# 若い力

第146号

2021年4月1日

発 責 国労九州本部

住 所 博多区博多駅東3丁目9番

## ベースアップは実施しない 夏季手当の回答は持ち越し

儲かっているとき → 「業績とボーナスは連動していない」  
儲かってないとき → 「業績とボーナスは連動している」



JR九州は労働組合との交渉における過去の発言を完全に無視し、上記のような呆れたダブルスタンダードを平然と通しています。会社は「過去に経験したことのない減収」と言いますが、「過去に経験したことのない増収」時にはボーナスを据え置いてきました(下図)。このような会社の「不誠実」な姿勢は、ボーナスによって毎月の赤字を補てんしている社員の生活をよりいっそう困難で不安定なものとしています。今後のボーナス支給金額が不透明となる中、ベア獲得は至上命題でしたが、会社は感謝の言葉を口にするだけで、またも賃金には還元しませんでした。



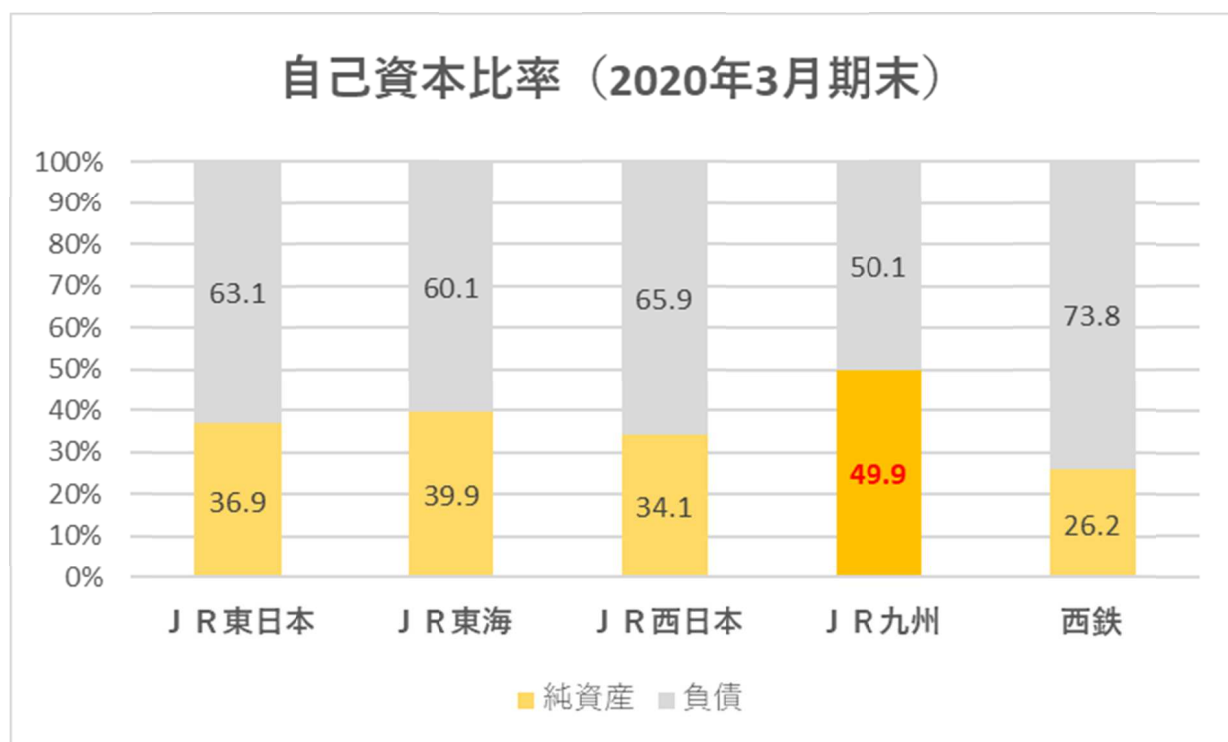
業績好調時は横ばい、不調時は急落といういびつな形になっている。

社員に賃金を支払うと会社がつぶれる？



会社は 1000 億円の借り入れと、400 億円の社債発行で資金を確保しました。これまで「現金が無い」ことを社員へ還元をしない理由として謳っていましたが、現在キャッシュは十分に確保できているため、その意味では「現金がない」という理由も通らず、賃金の支払いも期待できそうです。

しかし、こういうことを言うと「それはあくまで借金だから」ということを言われます。会社は無利子の貸付制度を行い、社員には借金による借金の支払いを推奨しているわけですから、会社も借金で現金を確保しているならその現金で人件費を支払うべきでは？と個人的には思います。さらに期末手当を半額としたことで 20 億円程度浮いた人件費に加え、社員の休業に伴う雇用調整助成金も国から支給されます。エッセンシャルワーカーとして業務にあたる社員のモチベーションアップを含め国労要求について十分に満額回答出来る蓄えはあると考えています。



J R 九州は上場 4 社の中で最も借金の比率が小さい会社であることが分かる。

上記は 2020 年 3 月期末のデータですが、この時点で自己資本比率は JR 以外も含めた日本の鉄道会社の中で堂々の第 5 位。1400 億円を調達した後の第三四半期決算でも 43.2% となっており、未だ最も借金の少ない JR 会社です。「現金は調達したがあくまで借金。社員に使用すれば会社がつぶれる。」さすがに暴論で無理筋ではないでしょうか？

さらに「お金が無い」と発言しながらも、株主への配当は過去に積み上げた「お金がある」ため満額支給するそうです。自己矛盾に陥る発言ばかりで辟易します。満額支給は JR 会社で九州のみです。

	通期業績予想	前年度	1株当たり配当金	前年度比
J R 東日本	△4500億円	1984億円	100円	55%
J R 東海	△2340億円	3978億円	130円	86%
J R 西日本	△2400億円	893億円	100円	60%
J R 九州	△284億円	314億円	93円	100%

最後に第三四半期決算を確認してみます。

2020年第3四半期（4～12月期）決算				
	鉄道運輸収入	前年度比	営業収益	前年度比
J R 東日本	7 2 1 2 億円	45%	1 3 0 6 2 億円	57%
J R 東海	3 5 9 0 億円	33%	6 0 3 0 億円	41%
J R 西日本	3 1 5 3 億円	46%	6 4 5 0 億円	56%
J R 九州	5 6 6 億円	49%	2 0 2 4 億円	63%



鉄道運輸収入も5割程度まで回復し、コロナ禍ですが売り上げも九州のみ前年度比で6割確保しています。前年度からの営業収益減少分37%のうち8%(266億円)はドラッグイレブンの持分法適用会社変更による影響ですから、それが無ければ前年度比7割程度の売り上げは確保できていたのかなと推測されます。

我が社はコロナ禍による減収はありますが、鉄道に頼らない経営戦略を進めていたことで、JR他社に比べて業績が安定しており、会社はその信用をもって、銀行から借入れをし、社債も発行しました。そして手元に現金及び現金同等物を確保し、株主配当150億円も1500億円を超える利益剰余金から満額支給します。そのことから危機的状況では無いことが分かります。

コロナ禍という未曾有の危機の中、社員はエッセンシャルワーカーとして公共交通を支えてきました。期末手当のような超低額回答はあってはなりません。賃金は労働力の再生産費です。そして労働組合との交渉により決定されます。買ったたける便利なコストではありません。

社員への責任から「逃げない」こと、「誠実」な回答を求めます。

**経営状況を学習して一緒に声を上げていきましょう！**